



世界の子どもたちのために

Wish

ユニセフ兵庫ニュース



地球のステージ2

Vol.18
(2006年秋)

- 2...地球のステージ2
- 3...東西交流コーナー/平和のつどい/ユニーズ
- 4・5...アフリカ連続学習会
- 5...ユニ・ボラ塾/学習会
- 6...お知らせ(ハンド・イン・ハンドなど)

兵庫県支部ホームページ <http://www.office-bit.com/unicef-hyogo>

unicef 



桑山紀彦さん



イラン震災救援篇より

8月19日(土)午後3時~5時 生活文化センター2Fホ-ルにて

「地球のステージ2」感動体験

世界で起きているさまざまな出来事が、音楽と映像によりシンクロされた「地球のステージ」。昨年に続き2度目の神戸公演は、コープこうべと兵庫県生活協同組合連合会のご協力もいただき開催、約350名の方に参加いただきました。歳を重ねるごとにパワーアップされている桑山さんや、ステージで会う子どもたちに、来年もまたお会いできることを楽しみにしています。

「地球のステージ感想」 神戸市 酒井 登

秋を思わせる快晴の日曜日の朝、犬と散歩しながら、黄色くなった穂は頭を重そうに垂れている。秋の実りをおだやかに眺められる、これを平和というのだろうか。ニュースで伝えられる世界各地で起きている戦争、紛争、殺りく、貧困、被災報告などなど。そこには何の責もない市民が、子どもが一番に困っている状況を映し出している。

誘われるままに、何を聴かせてくれるのだろう。どんな講演なのだろう、と期待をもちながら開演を待った。スクリーン右から桑山さんのさわやかな歌声が流れてきた。スライドと体験談、そして歌にぐいぐいと引き込まれるではないか。「え！ こんな講演があったのか」世界にはいろいろな生き方、というより生かされ方があるのだなと改めて思い知らされた。

「正しい戦争」なんて無いのにどうしてこうも人間は憎みあうのか。スライドにはその悲惨さの中でも子どもたちの笑顔が写っている。桑山さんらが身を挺して取り組む支援活動がこんな笑顔にさせるのか。すばらしい活動だと感心した。こんな世界の現実を、危険

を感じながらのこんな活動を、若い人ほどもっと見なければならぬと思った。高校生にも見せられたら良いなと思い、早速勤務先の講演予定に推薦した。

講演が終わって、我に戻ると「自分は何をしているのだろう」に襲われた。思うままになるなら、このように困っ



パレスチナの少女たちと海を見に行った時の映像(パレスチナ篇より)

「エルサレム、自由、平和...」少女が大切にしていることは(パレスチナ篇より)

ている誰かに役立つ活動をしたいと思うのだが、そうはままならない。せめて協力できるところから始めようと、妻と話しながら帰路について。

本当に感動いっぱいのお話をありがとうございました。

「地球のステージに感じて」 好徳児童館 山本喜子

ユニセフ兵庫県支部が設立されてから、『Wish』を通して活躍ぶりを知り、陰ながら応援しています。昨年ステージ1の公演に涙してから、京都での

ステージ3、今回のステージ2を合わせて3回、熱病に罹ったように鑑賞しました。

世界各地で私たちの知りえない惨状の数々や子どもたちの厳しい現実と深い傷、しかしさまざまな支援を受けて逞しく生きていく姿に驚嘆します。また映像による大自然の美しさや対比される戦車や破壊された町など、人間の愚かさにも愕然とします。何よりも桑山紀彦先生の医師としてだけではなく、底知れない人間愛と吟遊詩人のように歌われる調べが何より心に響いてきます。

イスラエル情勢はニュースに新しく、長い間の民族紛争が絶えない地域ですが、神戸出身の寺畑由美さんが一人、雄雄しく奮闘されていると知り、たった今もお元氣かと案じられ、エールを送るとともに、どうぞご無事でと祈ってしまいました。日本も61年前は悲惨な戦争を経験し、ユニセフの援助も受けたと聞いています。平和が当たり前のような日本ですが、子どもを取り巻く環境は危惧されています。

あふれるほどの情報の中でかけがえの無いものを守るための知識を得、学習を怠らない姿勢は持ち続けたいと感じました。これからも興味ある企画をお願いします。

西宮市環境学習サポートセンター主催 西宮交流コーナーで、 めだかの学校がにぎわう(7/22)

コーナーでは子どもたちが遊びながらユニセフに親しめるようにと紙芝居、ユニセフマークのパズル、5つの間違いさがし、レースペーパーで折る「平和の鳩」作りなど盛りだくさんに準備しました。小学生がたくさん来てくれましたが、どの子どももパズルが大好きでユニセフマークをしっかりと覚えてくれたようです。入り口には県支部キャラクターの『くーまん』も小学生の背丈で登場し、アピールしてくれにぎやかなイベントとなりました。(ボランティア杉山三平)



「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2006inとよおか」 に出展参加(8/5)

兵庫県の「人権文化をすすめる県民運動」として開催のイベントにユニセフもボランティアグループ「オリーブの会」メンバーを中心に参加しました。ステージでの日本ユニセフ協会大使アグネス・チャン氏の講演やユニセフパネル「守られている子どもの権利」などの展示、ふれあい体験教室や人権啓発コーナーなどの多彩な催しとなりました。会場の市民会館では、県支部が姫路で実施した街頭募金の時に参加いただいた方や学習会に参加いただいた方にも声をかけていただき、少しずつ支援の輪が広がっていることをうれしく感じました。



コープこうべ平和のつどい開催される

終戦から61年が経過した今年のコープこうべの平和のつどいでは、兵庫県支部の竹本会長(コープこうべ特別顧問)による講演会を4カ所で開催、「いのち」という事について改めて考える時間となりました。コープこうべ主催の「にじっ子平和の旅」の参加者報告や遺品展示など、それぞれの地区で多様な内容の取り組みが展開されました。

第3地区平和のつどい 7月8日(土)
生活文化センター2Fホ-ル



第5地区平和のつどい 7月9日(日)
コープカルチャー明石

第2地区平和のつどい 7月16日(日)
コープカルチャー西宮

第1地区平和のつどい 7月23日(日)
コープカルチャー宝塚



ユニズ フリーマーケットに初挑戦 9月17日(日)神戸メリケンパーク広場

台風が近づいてきているってあれほど前日までテレビなどでいわれていて、ビビりっぱなしだったんですが.....! フリマ当日は、奇跡の晴天。すこし風が強かったんですが、腕時計の日

焼け跡が思い出の1つとなりました。12,110円の売り上げを募金に。商品をご協力いただいた方にも感謝です。



募金贈呈

7月19日(水)清里ハイランドパーク(株)ハーブ摘み取り祭で集まった募金



7月23日(日)翠会30周年記念発表会からユニセフに募金いただきました。



8月18日(金)コープこうべ、コープこうべ労働組合、コープこうべ定時職員協議会ジャワ島緊急募金



7月31日(月)神戸市職員労働組合ジャワ島中部地震被災地激励大会神戸市勤労会館にて開催。在大阪インドネシア共和国総領事館からワハコト副総領事、ウィナルディ領事も出席され620名の参加で、被災地同士の絆と信頼を深める大会となりました。ユニセフへもご支援いただきました。



10月7日(土)利益共楽の会(コープこうべの自主的な学習グループ)が竹本会長を囲んで被爆体験を聞き、募金いただきました。



アフリカ連続学習会

4月
「アフリカの基礎知識」
タンザニアの基礎について、参加者手作りのお菓子や領事館のビデオを交えながら学びました。

5月
廣田めぐみさん
「アフリカの子もたちについて」



6月
加藤直邦さん
「ケニア・マサイマラの動物・自然・人について」



7月
山崎美緒さん
「アフリカ自転車5000km」



8月
「ユニセフの現場から」
大阪支部で開かれた、ユニセフ本部エイズ対策事業担当、大井佳子さんの学習会に参加しました。

9月
大津司郎さん
「アフリカ紛争からみえてくるもの」



10月
スタディツアーに
行ってきま〜す



第4回学習会 7月15日(土)生活文化センター会議室

山崎美緒さん「アフリカ自転車5000km」

7月15日(土)午後1時30分～3時30分、コ・プこうべ生活文化センター4階会議室に山崎美緒さんをお招きし、大阪外国語大学在学中1年間休学、自転車であフリカ大陸をケニアから南アフリカまで8カ国5000km縦断した体験談をお話いただきました。食べ物などの異文化体験からマラリア体験まで、多岐に亘るお話の随所随所に、あたたかい人間同士の出会い・交流・感動がありました。紛争・貧困・エイズなど報道に登場するアフリカとは一味違ったアフリカに触れる事が出来ました。

参加者の感想

行動する力、勇気をいただきました(男性)
2人の子どもの母です。いつも前向きにポジティブに自分を信じて、突き進まれた山崎さんの話を聞いて、自分も頑張りたいと思います。自分のすぐそばにある幸せに気づくアンテナをピンとはって、自分以外の世界にも目を向けて生活していければと思いました。パワーをありがとう。(女性)
とてもパワーをいただきました。プラス指向とユーモアと感謝はなにか新しいこと、未知のことに飛び込むとき、すごく力になるんだと背中を押された気がします。できない理由を挙げるより、できるよに1つずつ動いていけばいいんだなあ。私も楽しんでやっていこうと思います。(女性)

第6回学習会 9月30日(土)生活文化センター西館会議室

**大津司郎さん講演会開催
「アフリカ紛争からみえてくるもの」**

フリージャーナリスト
大津 司郎さん

9月30日(土)午前10時30分から約2時間にわたり、コ・プこうべ生活文化センター西館会議室で、大津司郎さん講演会「アフリカ紛争からみえてくるもの」を開催しました。一般参加の方も多くみえましたが、アフリカ連続学習会の最後の締めくくりとして、ジャーナリスト大津さんから、ルワンダ、ス・ダン、ソマリアの紛争についてのお話をお聴きしました。

どの地域にも共通に言える事は、地下資源についての利権と民族間の問題で複雑です。けれど、その中で何の罪も無い子ども達が兵士にされたり、家族を殺害されたりしている現状には本当に心痛みます。ルワンダは映画「ホテル ルワンダ」が記憶に新しいところ。大津さんは今年4月にス・ダン、7月にルワンダ取材で訪問されました。ルワンダの虐殺が行われたタラマ教



会を1994年、1998年に続いて訪れたところ、約10年前と全く同じ状況(虐殺時の乱雑さそのまま)が残されていたそうです。大津さんが「ルワンダの人々にとって10年前は過去ではなく『今』、人の心の痛みも『今』と話されたのが心に残ります。大津さんが指摘されたようにアフリカは日本からは遠く、紛争も遠い地での出来事かも知れません。日本政府が人道的援助の情報交換からはるかに遅れを取っているというご指摘もありました。

紛争地域に足を踏み込むのは難しい事かも知れません、けれど、その土地に生活している人達の事を想う事は出来るのではないのでしょうか。自分達で出来る事は何か、アフリカスタディツアーを1カ月後にひかえ、改めて考えるところの多い講演となりました。

第5回学習会 8月19日(土)

ユニセフ本部
エイズ対策事業担当 大井佳子さん講演会(大阪支部主催)
「ユニセフの現場から」に参加して

講演会で私の中に飛び込んで来たのは、ユニセフスワジランド事務所での活動内容やHIV感染率・平均寿命ではなかった。絶対王制って何? オイルなしでは他国から忘れられるってどういうこと? そんなにもスワジランドではユニセフ資金が足りないの? そんなさまざまな疑問だった。スワジランドという国は、王制のため、王様がYESと言わなければ動けず、NOと言われてしまえばそれまで。オイルやダイヤモンドといった地下資源も無く、自国の利益のことで頭がいっぱいの国際社会からは絶対王制がおかしいといった圧力もかからず忘れられている...

世界中から日々集められている募金。どれだけスワジランド事務所まで届いているのだろうか、質問してみた。ユニセフの資金は本当に足りず、現地事務所を構え、最低数の人員で運営していくことで手一杯。常に現地にいるスタッフがみずから手紙を書き、いろんな国に対して資金援助をお願いしているそうです。「気が遠くなるような作業の繰り返しだけど、少しずつでも変わってきているので、希望を持って...」という言葉で大井さんの講演会は締めくくられました。

私たち一人ひとりでは、どう立ち向かっていったらいいのか途方に暮れるような問題ばかり。それでも勇気をだして闘っている現地の人々に元気をもらい、これからも一歩一歩地道な活動を続けていきたい。(ユニーズ 猶原三晴)

スワジランド(南アフリカ) スワジランド王国 人口 110万人
HIV感染率 42.9%(2004年) 平均寿命 31歳(2004年)

コープ店舗ふれんず会
(いろんなところにおじゃまします)

6月23日、24日とコープ魚住の「店舗ふれんず会」に参加、組合員みなさんからご協力いただいている募金のことや具体的なユニセフ活動など、ふれんずメンバーのみなさんが熱心に聞いてくださいました。貴重な機会をいただき、感謝いたします。



尼崎・教職員対象の学習会

尼崎市小学校国際理解教育研究会からの2度目の依頼で、8月2日(水)に生活文化センターで実施しました。ユニセフの歴史や使命、活動の特徴などをクイズを使って説明。今回は「子どもの権利条約」や難民についてのワ

**ユニ・ボラ塾「国連憲章を読もう」
～まさにグッドタイミング～**

6月中旬より5回シリーズでスタートした「ユニ・ボラ塾」。回を重ねるごとに参加者が増えていくという傾向が見られた講座でもありました。それは講師の末吉先生のお人柄と講義の内容をわかりやすい言葉で進めてくださったからだに感謝しております。

参加者の中には、先生と同様にすばらしく勉強家の方もいらして先生への質問や意見の応酬も楽しく、おかげでこちらも思いがけない情報などゲットすることができました。昨今の世界情勢の中、タイミングよく「国連憲章を読む」に参加し、テレビ、新聞等のニュースの内容、意味を以前より理解することができたことはうれしい思いでした。平和の大切さについてお教えいただいたことを常に心にとめて、これからの生活に生かしていきたいと思いました。

「ユニ・ボラ塾」は終わりましたが爽やかな気分です。末吉先生、塾生のみなさまと共有できました時間に感謝です。(ボランティア 白土典子)



ークショップを中心に、実際に先生方が学校で活用できることを考えながらの学習となりました。教育現場での児童の国際化も始まっている中、兵庫県支部としても積極的に関わっていきたくと思っています。



**『ユニセフ・カードとギフト
秋・冬号2006』**

カード・グッズについては、結婚式案内状・記念品として購入される方や、色々な活用方法があります。頒布日以外でも、購入をご希望の方は、お気軽に事務局までご連絡ください。
[☎078-435-1605]

毎月7日はカード・グッズの頒布日です!
コ・プこうべ生活文化センター1階ロビー

学習会一覧表

訪問日	訪問先	対象	人数
6月19日	神戸市立桜の宮中学校	中学1年生	60
6月23・24日	コープ魚住店舗ふれんず会	ふれんずメンバー	150
7月5日	豊岡ユニセフ学習会	組合員	10
7月7日	神戸映画サークル協議会	メンバー	20
7月11日	県立神戸甲北高校	北区7校生徒会メンバー	30
7月12日	明石市立望海コミュニティセンター	シルバー受講生	70
9月7日	神戸市立向洋中学校	生徒会メンバー	6
9月21日	阪神友愛食品	訓練生	15
9月29日	明石市立貴崎小学校	小学6年生	75
10月3日	神戸市立向洋中学校	生徒会メンバー	6
10月24日	コープ浜芦屋レイボースクール	受講生	8



阪神友愛食品での学習会の様子

お知らせ

『ハンド・イン・ハンド』に参加しませんか

ユニセフ HandinHand

テーマ：「守りたい、子どもの命・・・子どもの未来」

と き：12月23日(祝・土)11:00～13:00(予定)

と ころ：宝塚、西宮北口、住吉、三宮、元町、垂水、名谷、姫路

世界では毎年1100万人の子どもたちが5歳の誕生日を迎えることなく命をおとしています。その原因の多くは、ワクチンや安全な飲み水、十分な栄養があれば防ぐことができるものです。こうした子どもたちの命と、希望に満ちた未来を守るため、日本全国みんなの手と手を結んで支援の輪を大きく広げることを目指します。

あなたも身近なボランティアとして参加しませんか？

当日は現地集合、解散になります。

詳細につきましては、お申込みいただいた方に後日お知らせいたします。参加ご希望の方はご連絡ください。



兵庫県支部の活動紹介、カード頒布などをおこないます

姫路・福祉まつり

と き：11月3日(祝・金)10:00～15:00

と ころ 姫路城

たべる、たいせつフェスティバル2006

と き：11月18日(土)・19日(日)

10:00～17:00 10:00～16:00

と ころ 神戸国際展示場 3号館、1号館 **入場無料**

「食育」や「食の活動」をテーマに楽しく学べるイベントがいっぱい！スペシャルトークやパネルディスカッション、食育プログラムの発表や安全と安心の商品紹介など盛りだくさんです。ユニセフ兵庫県支部も出展しています。

あいめっせフェスティバル2006

と き：11月26日(日)10:00～16:00

と ころ 姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」

(イーグレひめじ3・4階)

なだ健康まつり

と き：12月3日(日)13:00～16:00

と ころ 原田の森ギャラリー

ボランティア募集

あなたにできること... 学習会、イベント参加、カード頒布、事務局運営、広報など、関わり方はいろいろあります。若者たち(高校生～大学生)のグループUNIE Sも参加しています。活動を通じていろいろな人たちとの出会いが広がります。一度のぞいてみてください。

学習会 イベント参加 カード頒布 事務局運営 広報

ご協力ください

ユニセフ募金 ~ご家庭で学校で職場で~
いただきました募金は、日本ユニセフ協会からユニセフ本部、そしてユニセフ現地事務所を通じて世界の子どもたちの支援活動に使われます。

郵便振替でお願いします

口座番号：00190-5-31000

加入者名：(財)日本ユニセフ協会

通信欄に「K1 - 280兵庫」とご記入ください。

会員って ユニセフ協力活動を行なう日本ユニセフ協会を、会費によって支援します。

一般会員...個人ならどなたでも1口 5,000円

学生会員...18歳以上の学生 1口 2,000円

団体会員...団体、法人、企業 1口100,000円

申込み方法についてはお問い合わせください。

緊急募金のお願い

スーダン・ダルフール緊急募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「スーダン K1 - 280兵庫」と記入

アフガニスタン復興募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「アフガニスタン K1 - 280兵庫」と記入

アフリカ緊急募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「アフリカ K1 - 280兵庫」と記入

東ティモール緊急募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「東ティモール K1 - 280兵庫」と記入

パレスチナ緊急募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「パレスチナ K1 - 280兵庫」と記入

中東緊急募金

郵便振替：00190 - 5 - 31000

通信欄に「中東 K1 - 280兵庫」と記入

【共通】口座名義：財団法人日本ユニセフ協会

募金は郵便局指定の振込用紙をご利用の上、上記口座

までお振込みください。

あ・と・が・き

お申し込み、お問い合わせは兵庫県支部まで TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830

国連事務総長がアフリカからアジアへ...歴史が流れて行きます。けれど、その保護が必要な地域ほど、そんな事とはおかないの毎日に追われる子ども達、大人達が激しいような気がします。「ぼくらはみんな生きている」...有名な歌のフレーズですが、世界の色々なニュースに接する時、どんな環境でもそこで生きている人達がいる事を忘れてはいけません。旅をして出会いがありその地に友だちが出来、その思いはますます強く広がります。(K)

Wish Vol.18号(2006年秋)

ユニセフ兵庫ニュース

2006年(平成18年)10月発行(季刊)

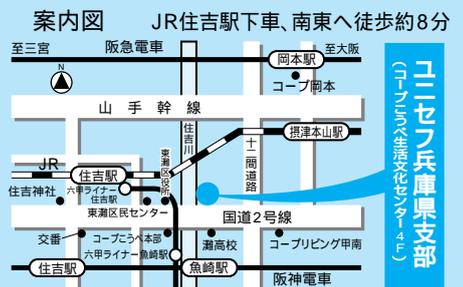
発行:(財)日本ユニセフ協会 兵庫県支部

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター4F

TEL 078-435-1605 FAX 078-451-9830

(平日の10時～16時)



本紙は古紙100%の再生紙を使用しています。